

1. 令和3年度 長浜市公共施設 等総合管理計画 の進捗について	A 委員		B 委員				C 委員	D 委員
	当初（平成 25 年度末）の延床面積（683,765.76 m ² ）から今年度末で4.57%減少し（652,526.99 m ² ）、令和6年度末の『総合管理計画』の目標値（642,739.81 m ² ）に対して、76%の進捗率となっている。残り3年間で当初比6%減少を達成するには、毎年平均8%の進捗率（3,282 m ² の減少）が必要となり、引き続き各部局の努力が必要である。		・「ほぼ目標通り」の進捗状況ということですので、それ以上申し上げませんが、この▲6%にどれくらいの意味があるか疑問に思っています。 ・それは国の主導の仕方も悪いと思いますが、本来は、どれだけ合理化対象の施設があり、そのうち、どれだけ対処したかではないかと考えます。 ・そのためには、減価償却累計額（老朽化率）からランニングコストまで、フルコスト等を積み上げ、合理化の優先リストを作成すべきではないでしょうか？これは次の「スポーツ施設」においても同じことが言えます。 ・もちろん、優先リストは財務的な見地だけではありません。地域バランスも重要です。 地域バランスの意味は、声の大きい地域の施設が残るという意味ではありません。 例えば、防災上の拠点としてのバランスも大事です。地理的な条件（ハザードマップ）も重要です。実際に私が関わった自治体の事例で、地理的に浸水の可能性が高く、地盤も弱い土地に立っている公共施設もありました。そういう施設から移転なり合理化を検討する必要もあるでしょう。 ・さらには稼働率、利用者（団体）の利用状況、受益者負担率等のソフトの情報も必要です。私の関わった自治体の事例では、たった1つの事業を実施するためだけに1つの老朽化した公共施設を存続させている例がありました。費用対効果の観点からすれば、全く非効率というほかありません。このようにハードを見直す場合はソフトも併せて見ていく必要があります。 ・地縁団体等への譲渡もよくある手段ですが、譲渡しても、その後も修繕等の財政支援を行政に要望されたりする例が少なくありません。本当に自分たちで完結できることが出来ないのであれば、譲渡より廃止が望ましいと考えます。もちろん、その際には、別の施設における市民の活動場所の確保は必要ですが。				ほぼ目標値通り、減少で良かったと思います。 後は、その中の幾つかの有効活用も考えていかなければと思います。 例えば、びわ体育館ですが、琵琶湖畔でもあり、周りも自然に恵まれた場所でもあり、アウトドア関連の施設等（有料）考えてはと思います。	進捗まずまずと思いますが、まわり・状況を踏まえての実効を。
	E 委員	F 委員	G 委員	H 委員	I 委員	J 委員	長浜市	
		今回、びわ体育館の解体により、この施設を長年利用されていた市民の方の反応はどうか？余呉体育館の利用者が伊香ツインアリーナを利用されるより遠く、不便に思われないか気になりました。老朽化が著しい各団地群は、解体・譲渡など解決して良かったと思います。 新しい土地開発が急スピードで行われています。道路の拡張整備も進んでいる地域の人口流入などの変化の激しさに驚いています。		特に神照団地や旧加田教職員住宅等に関しては、建築年度も古く老朽化等も進み、又、現在に添わない間取り及び耐震の面においても解体を望みます。 地域的利用度においては、神照団地跡地の公共的再開発はあると思います。		公共施設の延床面積が R3 期末見込みで目標値が達成できるとの報告資料を頂き、各管理原課がそれぞれに努力された事や、財産活用課の職員の方々の熱心な計画推進と取り組みに対しまして深く敬意を表します。 少し気にかかる点は、市のホームページで閲覧したのですが、市有地の売却に於いて、R3、2月の南浜町の物件、3月の加田教職員住宅（今回資料にも掲載）、早崎町の山林について市の予定価格と落札価格があまりにもかけ離れていますので、予定価格の算定基準には問題が無かったのか又その後検証されたのかが気になっております。市の公有財産が高く売却出来て、結果良しとは思いますが、今後の物件もありますので、しっかりと担当部署で検証して頂ければと思います。	廃止公共施設の処分（売却・譲渡）については、条件整理に一定の予算も必要となることから、これまで引き合い等の見通しがついたものから投資をしています。次年度からは、庁内全体の利活用と処分に対する関係課の連携をより強め、取組をさらに加速化するため、測量業務委託や不動産鑑定に係る経費を一本化する予定です。 また、取組を進める中で、老朽度合い等だけでなく、稼働率や利用状況を把握し、できる限りデータに基づく形で、今後の利活用・処分物件を具体的に洗い出し、優先順位等の見通しを持つようにしたいと考えています。 びわ体育館については、代替施設を確保し解体したこともあり、現在のところ、利用者の方からは不便になったとの意見は具体的に聞いていません。 売却時の予定価格は、不動産鑑定評価をもとに公有財産審議会で審査のうえ決定しており、適切な時価によるものと考えています。南浜町や加田町、早崎町の物件は、競争により落札価格が上ぶれたものです。	

2.「長浜市スポーツ施設整備基本計画」の策定について									
（１）「目的」としては、市民が身近にスポーツに親しむことができ、今後のスポーツ振興を進めるものですが、内容等についていかがでしょうか。	A 委員		B 委員					C 委員	D 委員
	・『長浜市健康都市宣言』を具現化するために、特に高齢者向けの健康維持の指標を策定し、施設利用状況と近隣地区の健康状況の関連を中長期でフォローしてはどうか。 ・利用者として一般市民のみならず、近隣に老朽化した学校プールがある場合、生徒も利用できないか、考慮しては。		・スポーツ基本法に準拠していることはよく分かりますが、現代は人生 100 年時代と言われ、市民が健康に生涯を送る観点からのスポーツの意義＝すなわち健康政策の観点もあっていいのではないかと考えます。 ・当計画の主管課はスポーツ振興課ですが、関連する（領域的に隣接する）健康政策、福祉政策、医療政策、市民自治（市民協働）担当課等との連携が必要と考えます。						・統廃合で古く利用状態により解体していくのは仕方ないと思います。 ・スポーツ（身体を動かす事）は市民の健康寿命にもつながるので。
	E 委員	F 委員	G 委員	H 委員	I 委員	J 委員	長浜市		
		市全図の位置図と共に、各施設の相互の利用状況を見ました。 文化・スポーツ関連は、共に特定のチーム・団体に片寄らない平等な条件で利用されるべきだと考えます。定期的に利用する者が優先的に予約を取る等、以前から問題となっていた背景がありました。 その点、指定管理者制度を導入した施設が多くなったので、共通の予約システムを用いて、一般市民も利用しやすい施設を目指すよう指導も必要なのでは？と思います。		質の高いスポーツ施設であり市民が身近にスポーツのできる環境から、老朽化及びバリアフリーが出来ない施設は安全かつ公正な環境とはいえない。 又、湖北に行くほど人口減少及び少子化により、利用状況を見ると維持管理が難しい。 特に、西浅井町大浦テニスコートは年間 37 人、指定管理者制度にしても難しい。		大枠では目的がはっきりと示されており、結構かと思っています。	今回策定します「長浜市スポーツ施設整備基本計画」は、各施設の現状や課題を整理し、施設のあり方や対応方針を定め、施設の適正配置を行いつつ、安全・安心で質の高いスポーツ施設の提供と持続可能な財政運営とすることで、市民が身近にスポーツに親しむことができる環境を整備し、スポーツ振興を図ろうとするものです。 策定にあたっては、長浜市のスポーツをソフト面で推進していく「長浜市スポーツ推進計画」との連携を図り、より効果的な施策が図れるよう進めてまいります。 また、多くの利用をいただいています学校体育施設の開放、体育館やグラウンド、プールの教育現場での利用を引き続き図るほか、運用面の改善として、施設予約システムの導入や指定管理者による施設運営等により、より利用しやすい環境を整え、施設利用の効率化を図りたいと考えています。 こうした取り組みにより、「長浜市健康都市宣言」に掲げる、健康でいきいきと生活できる「健康で輝けるまち ながはま」の実現にむけて、気軽に健康づくりができる環境を整え、関連する計画や施策等との連携をさらに進めたいと考えています。		

2.「長浜市スポーツ施設整備基本計画」の策定について									
（２）「計画期間」については、令和５年度～１４年度までの１０年間で す。	A 委員		B 委員				C 委員	D 委員	
	個別計画と位置づけるのであれば、総合管理計画と時間軸を合わせるべきでは。		・10 年間を基本としながらも、単年度ごとにモニタリングを行い、5 年ごとに見直すような仕組みが必要と考えます。					体育館の改築は、場所やそこに行くインフラも関係してくるので、時間がかかると思います。	
	E 委員	F 委員	G 委員	H 委員	I 委員	J 委員	長浜市		
		今後 10 年間の市民人口の増減（立地・周辺住民の利用状況・施設の整備等）を様々な角度から検討していくとの事ですが、北部の人口減、南部の人口集中が今よりどうなるのか、どう予想して策定計画を目標達成に向けて具体的な案を練るためにも、10 年後の人口予想も盛り込むと理解しやすいと思います。		市の財政面及び過疎化・少子化を考えると、5・6 年計画では無理だと思います。10 年が妥当です。		結構です。	長浜市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）と密接に関係する計画であることから、計画期間を総合管理計画と同じ10 年間としました。 計画策定後は、人口増減などの社会情勢も見据えて、毎年度のモニタリングや中間見直しにより計画を推進していく予定です。		

2.「長浜市スポーツ施設整備基本計画」の策定について									
（３）「計画策定の手順」については、P. 7の策定スケジュールのとおりですが、いかがでしょうか。	A 委員		B 委員					C 委員	D 委員
	・プールについて多様な利用を想定する場合、「スポーツ振興課（一般市民利用）」と「教育委員会（義務教育）」で早めに協議してはいかがか。 ・改築する体育館の場合、指定管理者をまず選定し、行政・指定管理者・市民を巻き込んで、ハードの再設計をすることで施設利用が促進される。		・前述の「1. 令和3年度長浜市公共施設等総合管理計画の進捗について」の意見で申し上げましたとおり、計画には詳しく記載しなくとも、実際の「現状分析」には、「スポーツ施設の現況」に記載されている以上の様々な見地からの情報が必要と考えます。						調整をしっかりと取りながら。
	E委員	F 委員	G委員	H 委員	I委員	J 委員	長浜市		
		スポーツ振興課の策定スケジュールに利用者との意見交換の時期が示されていますが、この利用者とは市民の中で主にスポーツ愛好家の方々が対象となっていますか？ 現在の利用者の年齢構成を幅広いものとして、10年後の長浜市でスポーツの中心となって活躍される方々の意見も十分に聞くような機会となればよいと思います。		原案方針通りでよろしいですが、もう一つ、長浜市池奥町（西池）海洋センターにおいては、池の大半に藻類が生え、カヌー・ボートの練習を妨げている。練習意欲を無くす。		結構かと思います。 パブコメを各地区で丁寧に行って、よく地区の意見・要望を聞いて頂いて最終計画を策定して頂きたいです。	計画策定にあたっては、施設を取り巻く状況（稼働率、課題、代替施設となりうる施設の状況など）を丹念に分析し評価を行っていきます。 また、パブリックコメントやワークショップなどにより、利用者や関係団体、市民の意見を広くいただけるよう手法を考え、計画策定に反映していきます。 なお、計画においては、各施設の対応方針を定めることとし、個々の施設の整備を行う段階で、施設の状況に応じた最適な整備手法を選定していきたいと考えます。		

2.「長浜市スポーツ施設整備基本計画」の策定について									
（４）上記以外について、ご意見やご質問があればお願いします。	A 委員		B 委員					C 委員	D 委員
	・ 利用状況について、利用者総数ではなく、利用割合（例えば、コマ単位利用率や開館1 日当たり利用者数など）で、稼働率の推移を教えてください。 ・ 単位当たり原価（利用者一人当たり原価や㎡当り原価など）も明らかにできないか。		・ 全国的に指定管理者の硬直化（同じ事業者が毎回選定されている）が指摘されています。一方、地縁団体等の寄合所等、指定管理者制度導入が相応しいとは思えない施設に指定管理者制度が導入されている事例も多く見受けられます。 ・ 健全な競争を促す（新規参入を可能とする）募集要項、仕様書、評価シートの作成等が重要です。 ・ 一度、そうした選定方法から選定対象施設の是非も含めて、私のような専門家を入れて市として検討されてはいかがでしょうか。ご提案として申し上げます。					スポーツ施設として、ここに挙げてある物の他に、学校の体育館や運動場もあるかと思っています。 学校の施設は安全性もあり、夜間も借りることができると思うので、老朽化・危険な施設は失くす方向で考えていったらと思います。	スポーツする人のみでなく、見て感動する人、支援する人、しょうがい者のことも考慮願います。
	E委員	F 委員	G委員	H 委員	I委員	J 委員	長浜市		
		全体の推進計画を進める上で、今回提示していただいた資料をゆっくり見れました。 地図上で表されている各施設を実際見て来ることもできました。その施設に集う住民の姿も想像できました。 今後 10 年をかけて長浜のスポーツ人口を増やし、新しいスポーツにも対応できる施設を提供する事に、このマネジメントを最大限に活かしていきたいと思います。				(1)目的の項の中の「施設の選択と集中による適正配置」についてですが、総論賛成、各論反対になりそうですが、今、地区の老人クラブの役員をしています、湖北地区ではグランドゴルフが人気があり、此の冬場でも盛んに練習や大会が開催されています。これも土間付体育館があるお陰です。冬場の積雪が多い湖北では老人の唯一のスポーツが出来る場所です。現在 9 0 歳代の方も元気にプレーをされております。 伊香ツインアリーナが木之本に出来て、将来的には集約されそうに思いますが、交通の便を考える時、近くに冬場でも健康に結びつく施設が身近にあればと思いますし、コミュニケーションの場としても大きな役目を果たしています。引いては健康寿命も延び老人の医療費削減につながるのではと思っています。各町に 1 か所は残して頂ければと思っています。	計画策定にあたっての考え方を上記（３）でお示したとおり、施設を取り巻く状況（稼働率、課題、代替施設となり得る施設の状況など）を丹念に分析するとともに、広く意見をいただき計画策定に反映していきます。 現在、指定管理者制度の導入有無や、業務委託、直営等の運営手法は現場を最も把握している所管課が主体的に行っていますが、第三者の目をもって客観的な判断も必要と思いますので、ご提案については参考にさせていただきたいと思います。		

3. その他	A 委員		B 委員				C 委員	D 委員
	長浜市中心街にある民間のジムやヨガ教室などと、公共スポーツ施設の協働を模索してはどうか。（スタンプラリー、協賛でのイベントなど）							長浜市から全国・世界に出る人を育てたい願ひもありますので、そういった事を理解下さい。
	E 委員	F 委員	G 委員	H 委員	I 委員	J 委員	長 浜 市	
		東京、北京オリンピックで、スポーツ選手の姿が生きる力をコロナ禍で疲れた人々に与えているこの時期に、長浜のこれからのスポーツ施設の整備基本計画の策定に携わる機会を得た事に感謝します。		長浜市朝日町にある武徳殿については特に古い、私も剣道をしておりましたが、駐車場がありません。 本庄山村広場及び東上坂山村広場では、防災等の避難所としては良いが、利用目的等現状分析が必要と思います。		西浅井地区の小中一貫校の計画はどの程度の進捗状況なのでしょうか？ ・塩津、永原小学校の校舎・跡地の利活用ですが、今から地域を巻き込んで議論する必要があると思います。余呉地区の身近な事例（統合前の施設の利活用状況等）を初め市内の他地域事例（成功事例等）をみると、いろいろと学ぶところが大いに有ると思えるのですが・・・ ・西浅井地区にとっては大きな関心事ですので、計画途中年度の経過報告を地域住民にして頂きたいと願っております。	市以外のスポーツ施設や民間スポーツ施設の状況も踏まえ、市民がスポーツに親しみ、スポーツ振興が図れるよう施策を進めていきたいと考えます。 ご意見をいただきました駐車場やバリアフリーの状況も含めた施設の状況を分析し、計画策定に反映していきます。 西浅井地区に関し、平成２７年に提出された「長浜市小中一貫教育にかかる提言書～魅力ある学校づくりをめざして～」を受け、平成２８年７月に「長浜市小中一貫教育基本構想」を策定し、西浅井地域では平成２７年２月に第１回地域・保護者説明会を実施しました。その後平成２８・２９年にもＰＴＡ役員・民生委員児童委員との意見交流会や説明会を実施しております。当初は塩津小・永原小・西浅井中学校の施設分離型小中一貫校を設置形態として提案しておりましたが、児童・生徒数の推移や教育効果等を視野に入れ、令和元年度からは施設一体型の義務教育学校も形態の一つとして提案に加えています。 今後、塩津小学校では現在７９名の児童数が令和９年には７２名に、永原小学校では９０名が５２名に、また、西浅井中学校は全学年単級になるなど児童・生徒数は減少傾向にあります。令和２年・３年度はコロナ禍でもあり集まっての説明会等は実施を見送っていますが、次年度以降丁寧な意見交換を実施してまいります。	